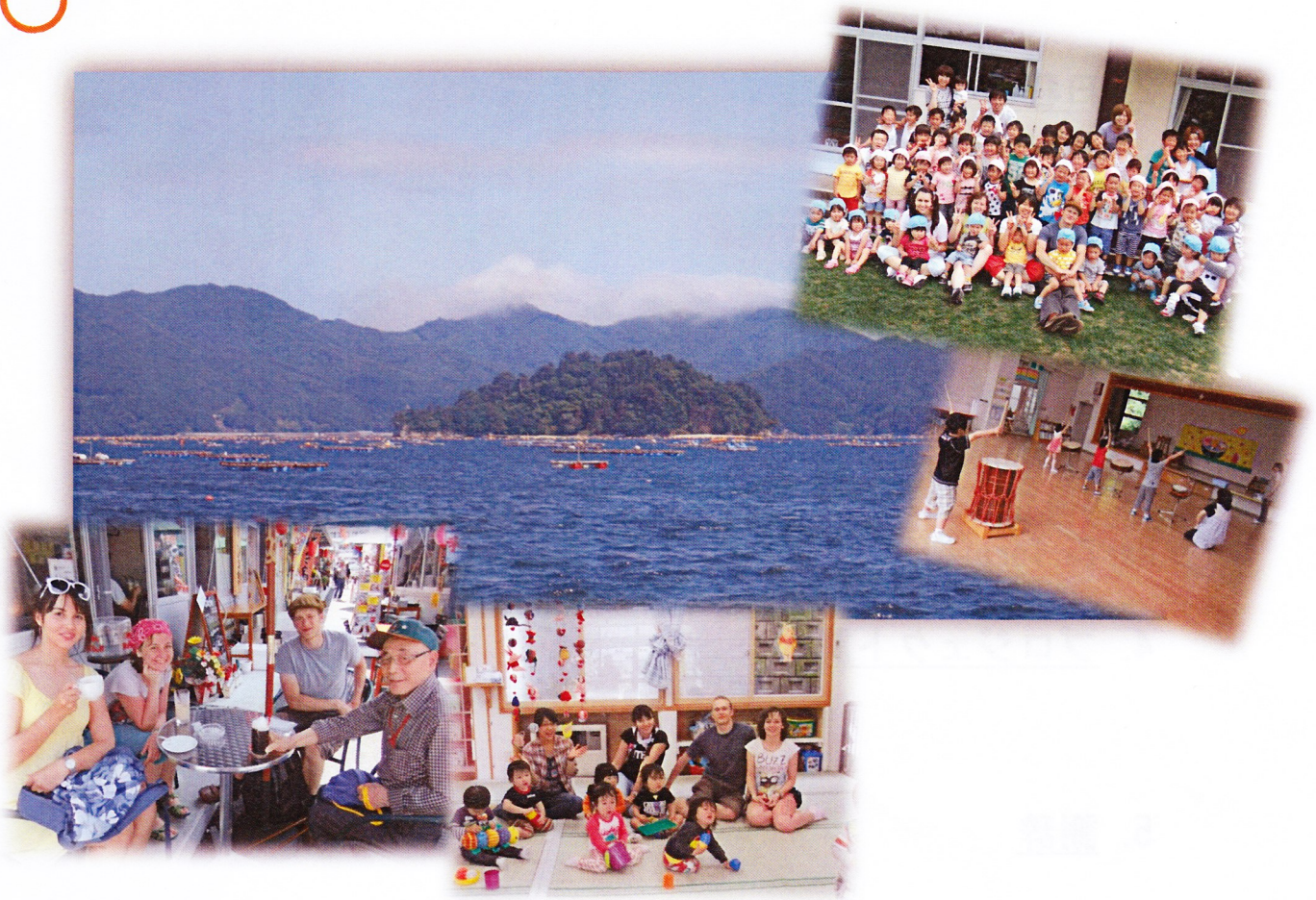


# CIEEJ1202

## 国際ボランティアプロジェクト 岩手県/山田町復興支援2012



期間 2012年7月2日～7月14日

場所 岩手県下関群山田町

受入先 龍昌寺 山田町第一保育所 織笠保育園 豊間根保育園

作成者 田廻香織

CIEE（国際教育交換協議会）  
国際ボランティアプロジェクト 受け入れについて

1. 目的

プロジェクト参加者の第一の目的は、「日本を知りたい」「日本の文化や社会を知りたい」ということ。そして第二の目的は、「受け入れ団体やコミュニティーに役に立つことをしたい、社会貢献をしたい」ということです。

2. 参加者

No.	氏名	国籍	団体名	性別	年齢
1	MARIA TARASOVA	Russia	SODRUJESTVO	女性	22
2	ALEKSI ANTTILA	Finland	Concordia UK	男性	22
3	EKATERINA BRIT	Russia	STC	男性	30

★リーダー 田廻 香織(たまわり かおり) 20歳 女性

3. 滞在スケジュール

月日	内容	対応施設及び対応者	備考
7月2日(月)	到着日(7:29着)	龍昌寺	道の駅まで迎え(佐藤) 宿泊先:宿 木村屋 (0193-77-4222)
7月3日(火)	被災地視察	佐藤秀樹、福士浩尉	久慈市まで
7月4日(水)	ワーク(保育補助)	山田町第一保育所	
7月5日(木)	ワーク(保育補助)	山田町第一保育所	
7月6日(金)	ワーク(保育補助)	山田町第一保育所	
7月7日(土)	オフ	龍昌寺	ウェルカムパーティー
7月8日(日)	オフ		
7月9日(月)	ワーク(保育補助)	織笠保育園	
7月10日(火)	被災地視察	清水理事長 佐藤秀樹、福士浩尉	気仙沼市まで
7月11日(水)	ワーク(保育補助)	織笠保育園	
7月12日(木)	ワーク(保育補助)	豊間根保育園	
7月13日(金)	ワーク(保育補助)	豊間根保育園	
7月14日(土)	出発日(20:25発)	豊間根保育園	出発時間まで夏まつり見学 道の駅まで送り(佐藤)

※ワーク時間は8:30から16:30まで。(8時間)

※ワークは保育補助の他に「自国の文化の紹介」などを組み合わせてもOKです。

# 目次

## 1. プロジェクト内容と目的

## 2. 日程表

## 3. 参加者紹介

Ekaterina Brit

Aleksi Antilla

Maria Tarasova

## 4. プロジェクト詳述

## 5. 謝辞

龍昌寺の皆さん

山田町第一保育所の皆さん

織笠保育園の皆さん

豊間根第一保育園の皆さん



## プロジェクト内容

保育所の子供たちと交流する。

山田町の地域住民の方々と相互に異文化交流を行うことで、互いの文化を理解し合う。

## プロジェクト目的

参加者達は、日本文化の理解と昨年の東日本大震災に関心を持ち、復興支援をしたいとの思いで、このボランティアに参加している。

今回、岩手県山田町に御縁があり海外からの参加者を受け入れて下さることになった。龍昌寺さんを中心とした、保育所の先生方と地域住民の方々の理解と協力の元に、今回のプロジェクトを開催することができた。

# 日程表

	午前	午後
7/2	道の駅やまだ	山田町視察
(月)	到着日	仮設住宅、ボランティアセンター訪問
7/3	被災地視察	被災地視察
(火)	久慈市 宮古市 田老町	龍泉洞見学
7/4	山田町第一保育所	山田町第一保育所
(水)	ポケモンサマースクール	先生方と歓談
7/5	山田町第一保育所	山田町第一保育所
(木)	お茶会	阿部園長先生による山田の被災状況紹介
7/6	山田町第一保育所	山田町第一保育所
(金)	七夕誕生会	ロシア・フィンランドについて紹介
7/7	休日	龍昌寺
(土)		Welcome Party
7/8	休日	休日
(日)	関口神社参詣	山田町散策 公衆浴場
7/9	織笠保育園	織笠保育園
(月)	夏祭り盆踊り練習に参加	草むしり
7/10	被災地視察	被災地視察
(火)	気仙沼・釜石方面	気仙沼・釜石方面
7/11	織笠保育園	織笠保育園
(水)	シーザー先生の英語授業に参加	ロシアとフィンランドについて国紹介
7/12	豊間根保育園	豊間根保育園
(木)	ロシアとフィンランドについて国紹介	夏祭り準備 花火発射台作り
7/13	豊間根保育園	豊間根保育園
(金)	ヨサコイソーラン練習見学	夏祭り準備 紙花づくり
7/14	出発準備	豊間根保育園
(土)		夏祭りに参加

充実の二週間に、あっという間の時でした。しかしながら、メンバーが体験した多くのことはこれからの私達の人生にとってかけがえのないものになると確信しています。

ありがとうございました。

# 参加者紹介



## Ekaterina Brit (通称：カーチャ)

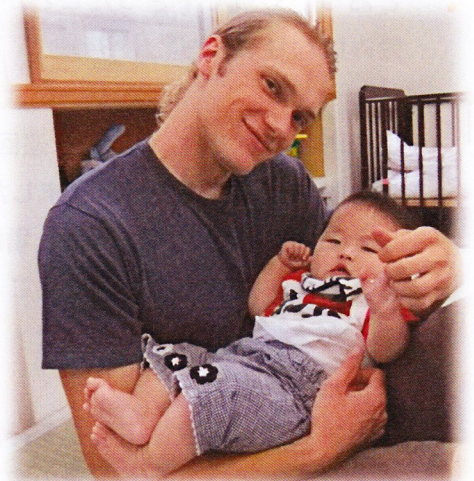
いつもその笑顔で子供達にも大人気。愛くるしさと全身にあふれる元気の良さで周囲を明るくしてくれました。日本語も堪能で、将来的にはモスクワの日本人学校で教師になりたいそうです。ロシアに帰ってから、震災について広めるために記事を書く予定です。山田の被災状況の講義では、メモを取ると同時に通訳もこなしてくれました。今回のプロジェクトの功労者です。

## Alexi Anttila (通称：アレクシ)

大らかな性格とたくましい体躯で、子供達とダイナミックに遊んでいました。背の高さと疲れを知らない体力で、大活躍に大人気です。

日本語も堪能。Welcome party では、その語学力で場を盛り上げてくれました。

将来は、数理哲学の学者になりたいそう。日本の文化、今回の震災についても造詣が深く、知識人として勉強熱心な彼でした。



## Maria Tarasova (通称：マリア)

初めての来日にもかかわらず、二週間で日本語が堪能になりました。それもこれも、もっと子供達と話したいという彼女の努力の賜物。メモを片手に勉強していました。日本の食生活、文化および震災について積極的に知識を得ようと、常に質問をしてくれました。知識欲と好奇心の塊のような人です。

誕生日を期間中に迎え、大勢の人に祝っていただいたことに、とても感激していました。



# プロジェクト詳述

## 7/2 山田町に到着

前日、21:00 頃に池袋を出発したバスは早朝 7:30 頃に道の駅やまだに到着しました。朝早くから、お迎えに来て頂いた佐藤さんと福士さんに一同感謝です。

緊張が抜けぬまま龍昌寺さんに到着した後は、午前中いっぱい二階の広間でお休みさせて頂きました。夜行バスの疲れを少しでも取ることでできるようにとの配慮いただいたことで、午後からの山田町視察に体力を回復することができたのだと思います。

龍昌寺さんでは清水住職から、今回のボランティアについての意義を語っていただきました。ご住職の御言葉で「私達の活動を希望だと思っている」とおっしゃって下さったことがその後の活動の励みになりました。



山田町の視察では、車で町を巡回しながら被災状況の説明を受けさせて頂きました。草が生えているところはかつて家があった場所であり、時間が経てば経つほど、その面影が遠ざかっていくことに焦燥感を覚えていること、建物がなくなったがゆえに視界が開けてしまっていることが未だに信じがたいこと・・・どれもその土地に住んでいるからこそその言葉で語っていただきました。

また、実際に仮設住宅の中を拝見させて頂き、ボランティアセンターがどのような機能をはたしているかも現場の声を聞くことができました。特に印象に残っているお話は次の事です。

ボランティアセンターの仕事の一つとして、おかずの配給があるということでした。それは、炊き出しのように食料を手に入れるのが困難であるからではなく、仮設住宅に住むお年寄りの方や立地が不便な場所に住む方といった買い物難民の方々に対する支援ということでした。しかし、何より重要なのは配給所までおかずを取りに来ることで地域住民の方と出会える機会があること、その機会が会話のきっかけになり心に何かしらの豊かさを与えてくれること、それが一番ボランティアセンターとしての重要な役割である、とのお話です。

確かに、未だに仮設住宅にて暮らさざるを得ない人の中には、塞ぎ込みがちになり、家に引きこもりがちになる方もいるとのことでした。それが、おかずの配給というきっかけから家の外へ出て人と会話する時間を得るきっかけへと転換すること、これがハード面だけで

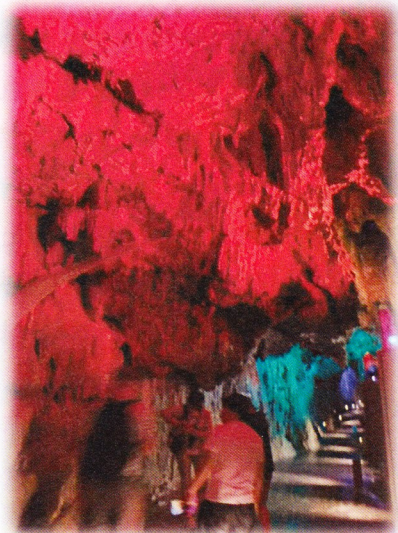
なくソフト面での支援だということでした。この話を宿に帰ってから、メンバーで共有したことで、自分達が保育所で子供たちと交流をもつ時間が直接的には復興支援に関わりにくいように見えても、決して無駄ではないことを認識できたように思います。

### 7/3 被災地視察

本日も佐藤さんと福士さんに、お迎えに来て頂き宮古市、久慈市、田老町方面に出発です。午前中いっぱいには被災地視察に時間をかけ、午後は龍泉洞の見学もさせていただきました。午前中の視察で、特に印象に残ったのは田老町の状況でした。田老町は世界に誇る堤防を築いていたことから、震災の時も多くの人々は津波に対する危機感をそこまではもたなかったといえます。それは、以前この堤防が津波を防いだ実績を持つことに由来するものでした。しかしながら、今回の震災で起きた津波はその防波堤を崩し、甚大な被害を与えました。その被害をうかがい知れるのが、今なお三階以上の部分が残されている観光ホテルの様相です。メンバーは、この現場から津波の被害を身にしみて感じたようです。私もその一人であります。建物自体は、津波の被害の様子を後世に伝えるものとして残すことが考えられているようで、そのための補修工事が進んでおりました。実際に、建物内部に入ることもできメンバーは被災当時について思いをはせていたようです。実際に、保育所での仕事に入る前にこのような経験、知識を得る機会を持てたことでメンバーの東日本大震災への理解を深めることができたのだと思います。



午後は、龍泉洞へ連れて行っていただきました。福士さんも一緒に、洞窟探検に乗り出した一行は、興味津津のわくわくした表情に。二日目ながら、だいぶくつろいだ表情になってきたように思われ、このような機会を設けて頂いたことに感謝の限りです。龍泉洞内は、とてもひんやりとしていて夏だとは思えないほど。しかし、フィンランドから来たアレクシに





は全く堪えず半袖で終始過ごしていました。さすがです。

一同、観光地巡りもしたことで前日の疲れも吹っ飛ばす充実した一日を送れました。

#### 7/4 山田町第一保育園

本日は、初めての仕事日。

どうなることやらと、一同は若干緊張していました。しかし、到着してみれば子供たちの元気の良さと自然な導入のおかげであっという間に馴染むことができました。



そして、なんと当日はあのピカチュウがやって来るポケモンサマースクールの日だったということで、一同子供達と同様にテンションが上がります。ピカチュウが出てきたときには、皆、興奮して写真を撮り笑顔があふれ出ていました。じゃんけん大会にダンスと、元気いっぱいの子供たちの姿を見てメンバーも心から楽しんだようです。

午後の時間は、先生方と歓談の時間を持つことができ、先生方が保育士を目指したきっかけやメンバーが今回、日本に来た理由などを話し合い穏やかなひと時を過ごすことができました。日本語が少しは出来るメンバーもいたものの、このように全く文化も背景も違う私達を快く受け入れて下さる度量の深さに敬服するばかりです。

#### 7/5 山田町第一保育園

本日も、子供たちの元気なあいさつに迎えられて一日を始めることができました。前日に、日本語の勉強を始めたマリアは慣れないながらも一生懸命に挨拶をし、積極的に子供達と交流しようと輪の中に飛び込んでいました。

また本日は、講師の先生方を招いてのお茶会イベントがあるということで、メンバーは日本の茶道を体験する機会に恵まれました。子どもたちの手前、頑張って正座に努めていましたが、慣れない姿勢には長時間耐えられずグブアップ。

苦笑するアレキシとマリアでした。

普段、飲みなれないお抹茶を豪快に飲みほしていく子供達が多いことには驚きました。メンバ



一も、お抹茶を興味深くいただきました。何よりも、講師の先生方の指導のもとに茶をたてる体験ができたことが、とても楽しかったようです。

また、子供達の虎舞を見させていただく機会もあり、参加者は父母のような顔でカメラを構えていました。一緒に遊んでいる時とは、また違う真剣な表情にはハッとさせられるものがありました。本番を見られなかったのは残念ですが、必ずやいい作品に仕上がっていたことでしょう。

給食後は、阿部園長先生にお時間を割いていただき山田町の震災当日についてお話していただきました。実際の保育所の被害の様子や龍昌寺さん周辺が津波と火災に飲み込まれていく様子を写真で目の当たりにし、メンバーは深いショックを受けました。しかしながら、数字だけでは決して実感できない、真に迫る事実を知る機会を得たことは今後、彼らが母国へ帰った時に震災状況を正確に伝えることに役立つものだ と確信しています。



何より、津波と火災発生時の空気を震わすような爆音や立ち込めていた匂いについて聞いた時には、これが現場でしか体験しえないものなのだろうと切実に思いました。カチャは、熱心にメモを取りながら時たま的確にマリアに対してロシア語で通訳をしてくれ、メンバー間での震災に対する共通理解を深めることができたと思っています。

阿部園長先生、本当にありがとうございました。

## 7/6 山田町第一保育園

七夕誕生会では、子供達がそれぞれの歳に合わせたゲームをして盛り上がりました。そのゲームには、先生方の準備や工夫が見られます。私たち自身も、天の川を渡るゲームに参加させて頂き一緒に楽しい時を過ごしました。特にアレクシは大きな体からは想像もつかない敏捷な動きを見せ、子供達は大喜びでした。

午後は、4,5歳の子供たちを対象にロシアとフィンランドについての国紹介をする時間を確保させて頂きました。メンバーは、それぞれが持参した本や写真を使って国の動物や建物、自分の家族について話す機会を得ました。先生方の協力



のおかげもあり、子供達が興味深く話を最後まで聞いてくれたことでメンバーも充実した発表ができたと手応えを感じていたようです。たったの3日間でありながらも濃い3日間を過ごすことができました。

## 7/7 龍昌寺 Welcome Party

休日ということで、午前中はお休みをいただき午後からは龍昌寺さんで行われるWelcome Partyのための準備に勤しみました。びはんでの買い出しに始まり、キッチンを借りてのロシア料理であるボルシチとサラダ作りは、カチャの手際の良さと男性保育士の方々による応援で滞りなく済みました。玉ねぎのみじん切りの件は、ありがとうございます。アレクシは、あまり料理慣れはしていないようです・・・。



清水ご住職に保育所の先生方、父母の会の皆さんと大勢で食卓を囲み一同、楽しい時間を過ごしました。特にアレクシは日本のお酒を楽しんだようです。また、マリアのお誕生日が近いということで、サプライズにケーキを用意していただき、彼女はとても嬉しそうでした。また、ロシア語で一曲「カチューシャ」の歌を披露し、皆さんから拍手もいただき心から楽しんだようです。このような宴席を設けて頂いた清水ご住職と、メンバーを温かく歓迎していただいた皆さんに本当に感謝しています。

## 7/8 関口神社

関口神社にまでハイキング、総計6時間、三万歩コースを堪能しました。実は、残念ながらマリアは若干の体調不良で参加を見送りましたが、カチャとアレクシは山田の自然を堪能したようです。疲れ知らずの彼らは、どんどん見るものすべてに新鮮さを味わっているようでした。また、夕方には銭湯にマリアも含めて行ったことで疲れを取ることができました。メンバーそれぞれがリフレッシュした時間になったようです。



## 7/9 織笠保育園

織笠保育園は、一番児童数が少ないと聞いていただけにどのような雰囲気なのだろうと、一同、期待と不安のような感情を持っていました。到着してみると、児童数が少ないこととは裏腹に広い園内で元気の良さを爆発させている子供達に迎えられました。夏祭り盆踊りの練習に、参加しそれぞれにクラスに分けられました。砂場で遊び、ブロックで遊び、絵本を読み・次から次へと色々な経験をしてメンバーは疲れるところか子供達の勢いに巻き込まれていったようです。給食後は、お昼寝の時間に参加し寝かしつけようと試みるメンバーでしたが、努力はなかなか実らず、逆に興奮させてしまうとのことで退散しました。午後は、先生方におやつに出していただいたかりんとうで充電し、一同は園庭内の雑草抜きにも精を出すことができました。



## 7/10 被災地視察

佐藤さんと福士さんにお迎えいただき、宮城県気仙沼方面への被災地視察です。今回は、清水ご住職もご同行していただきました。釜石、大船渡も通過しながら実際の現場を目の当たりにしました。遺体捜索を続ける警察、消防署の方の姿も見て一年以上経ちながらも、未だに見つからない方がいる事実を痛感しました。メンバーはそれぞれに思うところがあったでしょう。

また、昼食を頂いた仮設商店街では、この施設はどのような行政管理の下に運営されている、賃料は払うのかといった突っ込んだ質問も出ましたが、商店の人は快く疑問に答えてくださいました。震災が仕事を奪い、先行き不安定な中、それでも生きていかざるを得ない、生きていこうとする人々がいらっしゃるということを実感しました。

また、午後は大船渡の岬にも連れて行っていただき、絶景にメンバーは感動していました。



## 7/11 織笠保育園

二日目でもあり最終日でもある織笠保育園では、午前中は太鼓の練習を見学、シーザー先生の英語の授業にも参加させて頂きました。シーザー先生のはからいで、授業の補助も少しさせていただき興味深い経験ができました。

午後は、メンバーのお国紹介の時間。山田町第一保育所で経験を一回積んだこともあり、伸び伸びと発表ができたようです。普段とは違う真剣に話を吸収しようと努める子供たちの表情の変化は、ハッとさせられるものがありました。

発表後は草抜きを経て、再び子供達とアンパンマンカルタに紙芝居・・・と濃い時間を過ごしました。怖い紙芝居ばかりリクエストされるのには少し驚きました。怖い話ブームだったのでしょうか。最後まで疲れを知らない織笠保育園の子供たちなのでした。

## 7/12 豊間根保育園

初日に一回訪問したきりだった豊間根保育園についてやってきました。カチャは0,1歳児、アレクシは2,3歳児、私とマリアは4,5歳児、とクラスに分かれての活動です。教室に入るや大歓声に迎えられおっかなびっくりでしたが、打ち解けることができました。

だっこを求める長蛇の列が目の前にできた時には流石に私とマリアもひやひやしましたが・・・。残念ながら初日は天気恵まれず、園庭が使えぬ関係でホールにて夏祭り用の盆踊りを披露していただきました。ノリのいいもったいないばあさんとドラえもんの盆踊りにメンバーも満面の笑顔です。子どもたちのダンス発表の後は、私達の国紹介の時間。今回は、動物の鳴き声クイズを新たに取り入れ、先生方も楽しんでいただけたようでした。特に馬の鳴き声は日本では「ヒヒーン」ですが、ロシアでは「イヒヒ」、フィンランドでは「イハハ」というのが新鮮で面白かったようです。大盛り上がりの時間を過ごすことができ、メンバーも手応えを感じているようでした。また、質問コーナーでは好きな食べ物や好きな色の質問も受けましたが、好きな時計のブランドを聞かれ少し戸惑いました。しかしながら、メンバーはそれぞれの時計を見せて答えていました。先生方のはからいで初日にこのような時間を持てたことが、その後の活動のしやすさにもつながったのではないかと思います。

午後には夏祭りの花火打ち上げ台の制作準備です。板にアルミホイルを巻くという作業で慣れないものでしたが、コツを掴むと黙々と作業に集中して取り組んでいた姿が印象的でした。



## 7/13 豊間根保育園

豊間根保育園も二日目。相変わらず爆発的なエネルギーをもつ子供たちに巻き込まれながらの活動です。午前中は、明日の本番に向けてのヨサコイソーランの練習を見学しました。カーチャは、このヨサコイソーランが大変気に入ったようで動画サイトから音源を探していました。暑さに負けず、懸命に疲労してくれたヨサコイに一同感激です。練習の後は再び外で駆け回る彼らにはエネルギーを感じました。

午後には夏祭り準備を再び御手伝い。昨日の花火台を完成させた後は、紙花の飾り作り。園長先生の指導のもとに行ったのですが、一同は「こんなの見たことも作ったこともない！」と大喜びでした。しまいには、どこにいけばこの紙は買えるんだ？と騒ぎに。自分の国に帰ってから機会を見つけて披露したいそうです。



また、マリアの誕生日ということで作業中には子供たちが駆けつけて誕生日の歌を歌ってくれたり、園長先生はケーキを焼いてきて下さったり、と特別な日になったマリア。皆さんの心遣いに感謝です。



## 7/14 豊間根保育園

早いもので今日が最終日。

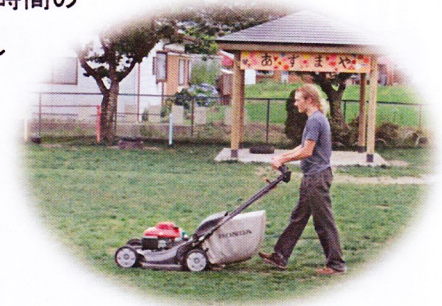
午前中は荷造りを完了したあとは、佐藤さんにお世話になりながら、別れの挨拶回りをしました。保育所で子供たちに、また来て、と言われると思わず涙ぐむ場面もありました。最後まで、子供たちには心動かされる場面が多いです。メンバー一同、またこの山田町に戻ってくると約束したのでした。



途中、山田町の長洲剛のお宅にも立ち寄り、お昼に焼き火カレーを御馳走していただくことに。初めて佐藤さんの紹介でお伺いして焼き鳥をごちそうになったときと同様、気さくで明るい方です。メンバーは、おかわりをする勢いで焼き火カレーに夢中でした。

昼食後は、豊間根保育園にて夏祭り準備の御手伝い。ポップコーン製造器は最初こそ調子が悪かったものの、時間内には間に合わせることができました。先生方と楽しく会話をしながらのポップコーン詰めにメンバーは最後まで充実した時間を過ごします。残念ながら、アレクシはこの後バスの時間の関係で夏祭りそのものには参加することはできませんでしたが、マリアとカチャはヨーヨー作りも体験し、日本の夏祭りを楽しみました。また、子供たちのヨサコイソーランの前に園長先生に活動を紹介していただいたことで、自分達の活動に対して手応えを得ることができたかと思えます。

ありがとうございました。



夏祭りを地元の中学生との交流も踏まえたのしんだ後は、いよいよお別れの時間です。打ち上げ花火を後にしながら、再び佐藤さんと清水住職に道の駅やまだまで送っていただきます。阿部園長先生にも、お見送りいただき私達の2週間は終了しました。皆さんが最後まで手を降って温かく見送ってくださったこと、絶対に忘れません。

# 謝辞

## 龍昌寺の皆さん

今回、私達がそもそも山田町にて活動を行えたのは清水ご住職を始めとする龍昌寺の方々のご理解とご協力があったからこそでした。初めての取り組みであり、調整など難しい点があったと思います。しかしながら、参加者に不自由ない環境を整えて頂き、ボランティアという言葉が不釣り合いなほどよくして頂きました。特に佐藤さんには送り迎えなどで負担を強いてしまったこと多々あったように思います。それにもかかわらず、いつも安定の笑顔で私達を安心させて頂いたこと、感謝しています。私達の活動の根幹を支えて頂いたこと、ありがとうございました。

## 山田町第一保育所の皆さん

私達の活動場所として、初めての場所ということもあって、先生方には特別なご配慮を頂くなどご負担もおかけしました。しかしながら、山田町第一で環境に慣れることができたぶん、残りの園でもスムーズに活動ができました。特に、多くの行事に子供達と一緒に参加させて頂いたこと、メンバーにとって非常に楽しく興味深い思い出です。阿部園長先生には、震災当日の事を講義して頂き、理解を深めることができました。この背景知識があったからこそ、一同、心して活動に取り組めたと思います。ありがとうございました。

## 織笠保育園の皆さん

織笠保育園では、少人数ながらも非常に濃密かつ濃い時間を子供たちと過ごすことができたと思います。たった二日間の活動でしたが、得たもの感じたもの考えたもの、一同それぞれにあったようです。また、先生方の仲の良さに私達も巻き込まれて楽しい時間を過ごすことができました。特に福士先生には、保育園だけでなく到着日のお迎えから被災地視察まで、大変お世話になりました。一緒に過ごせた時間が長かった分、メンバーの先生への想いも熱いものがありました。子供達と最終日にした、また来る約束を必ず果たします。

## 豊間根保育園の皆さん

私達にとって最後の活動場所となった豊間根保育園。最終日の夏祭りに向けての準備も初めての体験が多く、心から楽しみ充実した時間を過ごせました。エネルギーに満ち溢れた子供達が多く、爆発的に走り回り遊んだこと、素晴らしい思い出の一つです。

また、メンバーのマリアの誕生日を先生方を始め子供達と皆さんでそれぞれに祝ってくださったこと、彼女にとってとてもかけがえのない思い出になったようです。本当にありがとうございました。夏祭りで出会えた地域の方々とも充実した時間を過ごせたこと忘れません。